

## 情報処理教育室

### 1 理念・目的

現代の IT 社会においては、人間のあらゆる活動局面において、情報技術の影響・支援を避けて通ることはできない。情報処理教育室は、慶應義塾大学の学生に対して、勉学・研究・生活に必要な情報処理の知識と技術を身につけるために必要な科目を提供することをその目的としている。このため、できる限り多くの学生にコンピュタリテラシ教育を施すとともに、希望する学生には、さらに高度な利用技術の科目を受けられるような科目群も用意してある。情報技術を活用するためには、コンピュータ操作についての知識も必要ではあるが、それを悪用するものから身を守ること、他の人に迷惑をかけないこと、コンピュータやネットワークの特性・動作原理を理解することが特に重要であると考え。このため、初心者向けのコンピュタリテラシ科目においても、特にこの点に重点を置いた教育を行っている。

なお、近年急速な発展を遂げた高度情報化社会において必要な情報処理教育を再構築しその運営体制を整えることを目指し、平成 24 (2012) 年 3 月 23 日開催の臨時運営委員会において、平成 25 (2013) 年 3 月末日をもって情報処理教育室を廃止 (発展的解消) することが承認された。

### 2 教育研究組織

情報処理教育室は発足以来、専任の教職員を置かず兼任教員、兼務職員によって運営してきた。日吉の医学部、理工学部、薬学部を除く 1 年生に対する情報処理入門教育を行うことと、複数の上級コースを提供することが情報処理教育室の目的であるが、専任教員がいない状況では十分な教育を行うことは不可能である。現状では、各学部で開設している情報処理入門に相当する講義に対して、全般的な講義内容を決めることと、兼任教員、非常勤講師、T A および S A の人選、手配を行うことが教育面での主な業務になっており、その状態が長年続いている。

これらの業務は、理工学部教授が兼務する情報処理教育室長が担う体制がとられてきたが、この体制を維持することができなくなるという問題提起を繰り返し行ってきた。また、日吉キャンパス 1 年生の情報処理入門教育科目に関する検討も行ってきた。